

令和6年2月9日・10日 久留里・松丘・亀山地区住民の移動実態に関する  
アンケートの自治会長報告会を踏まえた論点一覧

<全般>

- 上総地区における将来も見据えた人口動態や、地区・時間帯ごとの移動ニーズを考慮した場合、地域にとって最適な交通モードはどのようなものか。

<定時定路線>

- 鉄道からバス転換した場合、利用者が減少する・鉄道は日中の便数が少なく不便だから利用が低調になっている、といった意見があるが、実態はどうか。
- 通勤通学利用の増加が厳しい中で、観光利用により久留里線活性化を図るべきとの声があるが、観光利用による乗降客の増加は見込まれるのか。
- 公的資金を入れた形での鉄道維持は可能か。
- (市営の) スクールバスの有効活用は可能か。
- 高速バスのアクシー号やカピーナ号について、上総地区内での自由乗降を実現することで、上総地区内の移動需要が満たせると考えるか。

<その他の散発的な需要>

- 全国的に地域交通の弱体化が進む中で、自家用有償旅客運送や日本版ライドシェアでどのような取り組みが進んでいるのか。また、上総地区内での実施状況はどうか。
- タクシーの運行状況はどうか。
- (利便性を考えると、自動車交通の方が良いと思うが、) きみぴょん号には、予約が取れない・運行時間帯を朝夕に広げてほしい・運行エリアを広げてほしい、といった声がある。行政コストとのバランスを鑑み、台数拡充などのサービス改善は可能か。